

# ろうさい ニュース

平成 29 年

9 月号

第 397 号

## ■循環器内科の紹介

浜松労災病院 循環器内科部長 篠田 英二

平素は大変お世話になりまして誠にありがとうございます。

循環器内科は 4 名の常勤医で診療に当たっています。

循環器内科では、高血圧、虚血性心疾患、心臓弁膜症や心筋疾患などによる心不全、不整脈疾患、また下肢動脈疾患、深部静脈血栓症、肺血栓塞栓症などが治療の対象です。

投薬治療だけでなく、カテーテル手術、ペースメーカー植え込みなどを行います。また急性循環不全など循環動態の不安定な患者の管理を行います。

当院では心臓血管外科と連携して治療を行いますので重症例でも対応可能です。必要であれば、時間外でも循環器内科医が対応しますのでご相談ください。

◇虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症）について

胸痛、胸部圧迫感など、新たに症状が出現した場合は危険な徴候です。糖尿病の場合は無症候性のことも多いです。喫煙、糖尿病、高血圧、高脂血症など危険因子の多い患者さんは、心機能の評価を兼ねてご紹介いただければ宜しいかと存じます。

心臓 CT、心筋シンチなどでスクリーニングを行い、冠動脈造影にて評価しています。

カテーテル治療は薬物溶出性ステント植え込みが標準治療で、年間 250－300 症例施行しています。治療後 8 カ月から 1 年で冠動脈造影再検いたしますが、再治療が必要になることは少なくなっています。慢性完全閉塞など複雑病変も対応可能で、高度石灰化病変もロータブレードによる治療が可能です。

なお、急性心筋梗塞、急性冠症候群には 24 時間体制で緊急カテーテル検査を行っています。

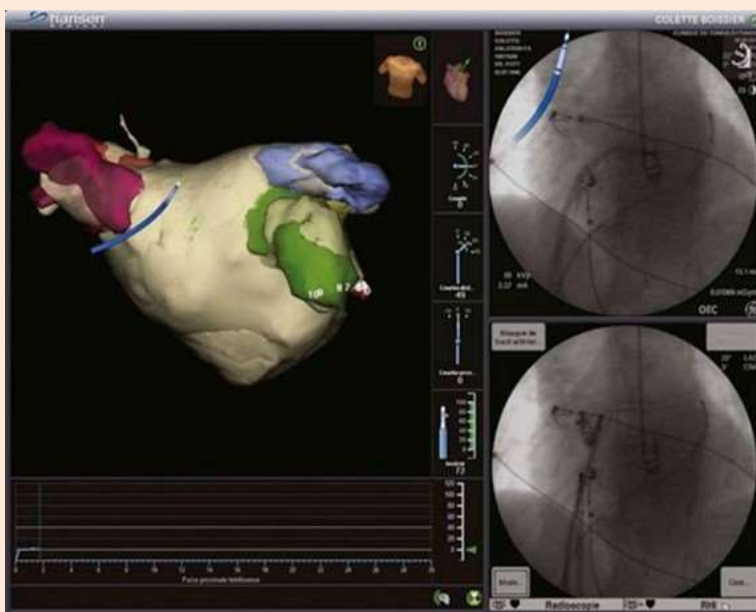
#### ◇不整脈疾患について

動悸を主訴に受診される患者さんも多いと存じます。

頻脈性不整脈の場合、以前のようにⅠ群の抗不整脈薬を使用することは少なくなり、カテーテルアブレーション、レートコントロール、抗凝固療法が治療の主体です。

当院では平成 27 年に Ensite NavX システムを導入しており、カテーテルアブレーションを月 1 例程度ですが施行しています。

徐脈性不整脈につきましては年間 40 例程ペースメーカー植え込みを行っています。ペースメーカー植え込みは低侵襲で、高齢の方でも安全に施行できますのでご相談ください。



Ensite NavX システム

#### ◇心不全について

さまざまな原因により心臓の働きが障害され、呼吸苦、浮腫などを生じた状態です。

安静、酸素吸入、血管拡張薬、利尿剤、強心剤などで肺うっ血、浮腫を改善します。

病状が落ち着いた後で、心臓カテーテル検査にて評価を行い、原因となる疾患の治療を行います。高齢者では侵襲的検査治療を希望されないことも多く、安静、食事、血圧、体重管理を指導し退院調整を行います。

#### ◇下肢動脈疾患について

閉塞性動脈硬化症のカテーテル治療を年間 30 例程度行っております。腸骨動脈に対するステント留置は再狭窄も少なく予後良好ですが、浅大腿動脈の場合は再狭窄率が高いことが課題です。膝下の病変の場合はバルーン拡張のみとなり、再狭窄率はさらに高くなります。重症例では下肢切断を要することも多く、形成外科、整形外科、皮膚科、心臓血管外科と連携して治療しています。

当科では入院診療に注力したいと考えています。退院後の御加療をお願いすることが多いと存じます。またいろいろご迷惑をおかけすることも多いと存じます。お気づきのことなどございましたら、どうぞ遠慮なくご指導ください。ご多忙のところ誠に恐縮ですがご高配のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

## ■総合内科の紹介

浜松労災病院 総合内科 東辻 宏明

平素より、各科の先生方及び関係の皆様方には、たいへんお世話になりまして、ありがとうございます。

当院の総合内科は、平成21年4月に内科より分科され、これまで医師不在の期間をはさみながら3名の先生方により、いずれも一人体制で診療が行われてきました。本年6月1日より、東辻宏明が担当させて頂いております。少し自己紹介をしますと、昭和59年医学部卒業後、当時の京都大学第一外科に入局、消化器外科医として勤務し、その後平成7年からは約20年間、癌や温度生物学に関する基礎研究に携わってきました。この度御縁があって、山形大学での内科研修を経て、浜松労災病院総合内科に勤務することとなりました。

「総合内科」あるいは「総合診療科」という科は、アメリカとイギリスでもその守備範囲が異なっていたり、日本においても、病院の規模や医師数によって診療内容が異なってくる部分も大きい科です。浜松労災病院における総合内科としましては、医師一人体制であり、初診時どの科を受診するかわからないような主訴でこられた患者さん、あるいは他科の原因疾患が見つからない患者さんの診療が主になります。具体的には、熱が出る、体がだるい、むくむ、眠れない、各種痛み、食べられない、めまい、しびれ、等々様々な訴えで患者さんが来られます。初診の際は、詳しく問診をとり全身を診察して症状の出る原因を探すべく種々の検査を行います。そこで、症状の原因として、専門科で対応すべき疾患が見つかった場合、すみやかに該当科の先生に御加療をお願いします。色々検査をしても、原因がよくわからない、ということもままあります。そのときは患者さんと相談しながらさらに詳しい検査をするか、症状をとる方に集中するか、考えながら治療を行っていきます。白黒はっきりとつかないことが多々あって、難しさを痛感する毎日です。総合内科にきて頂いた患者さんは、なるべくじっくり時間をかけてお話をうかがうよう心がけております。

患者さんの苦しみが少しでもなくなりますように、と私も一生懸命考えながら、悩みながら日々の診療を行っております。



今後ともご協力、ご支援のほど、どうぞよろしくお願いたします。

## 第28回浜松EAST医療連携セミナーの開催について

平成29年9月13日（水）に浜松EAST医療連携セミナーを下記のとおり開催いたします。今回は「便秘」がテーマです。ご多忙中恐縮ではございますが、ご出席いただけますようお願い申し上げます。

記

日 時：平成29年9月13日（水）  
19：30～21：00  
場 所：浜松労災病院 6階 大会議室  
講 師：三枝クリニック  
順天堂大学医学部附属静岡病院

院長 三枝純一 先生  
消化器内科 永原章仁 教授



## 第15回浜松EAST看護連携連絡会の開催について

平成29年9月15日（金）に浜松EAST看護連携連絡会を下記のとおり開催いたします。今回は「感染予防対策の視点で見直す在宅ケア」がテーマです。ご多忙中恐縮ではございますが、ご出席いただけますようお願い申し上げます。

記

日 時：平成29年9月15日（金）  
13：30～15：00  
場 所：浜松労災病院 6階 大会議室  
対 象：看護従事者、介護職員、介護支援専門員



独立行政法人 労働者健康安全機構  
浜松労災病院 地域医療連携室

電話 053-411-0366  
fax 053-411-0315

受付時間  
月～金 8:15～18:00 土 8:15～12:00